

[プレスリリース]

公益財団法人 日本セーリング連盟

女子スキフ種目・田中／永松組はメダルレース進出ならず
男子ウインドサーフィン種目・富澤選手は18位に後退



初出場の五輪はを総合17位で追えた田中／永松組 ©JSAF/JUNICHI HIRAI（写真転用禁止）

レース4日目。今日はスキフ種目予選最終日で、男女ともに3レースを行い、メダルレースに進出する上位10艇が確定しました。

49erFX級の田中美紗樹／永松瀬羅組は、今日の3レースで13位-19位-11位となり総合17位。残念ながら目標としていたメダルレース進出はかないませんでした。二人にとって初めてのオリンピックは、成長を感じながらも悔しい結果で幕を閉じました。

五輪には魔物が住むと言いますが、男子スキフ種目49er級では、世界チャンピオンで金メダル候補筆頭のオランダ、Bart Lambrie／Floris van Werken組がメダルレースに進めない波乱もおきています。

男子ウインドサーフィン種目 iQF0iL級の富澤慎選手にとっても厳しい1日でした。予定されていたマラソンレースが行われなかったため、長い、長い待ち時間の

後、スラロームレースを4本こなしましたが、13位-17位-18位-21位という結果で暫定18位に後退しました。世界の強豪の壁は厚いようです。

明日は男女スキフ種目のメダルレースが行われます。男女ウインドサーフィン種目は明日が予選最終日。また男女のディンギー種目・ILCA7/6級のレースが始まります。セーリング競技は後半戦に突入です。

49erFX 級スキッパー・田中美紗樹選手

「最後の第12レース、成績自体は良くありませんでしたが、自分たちのベストパフォーマンスを出せたと思います。初日から段々と順位が下がる結果になってしまいましたが、全体を通して最初の予想よりはだいぶ良いレースができていたのかなと思います。自分たちの強みも弱みも全部出た大会でした。世界に通用する部分があることも分かり、課題だった部分もギリギリなんとか食らいつくことができました。次はまだあまり考えていませんが、何をするにしてもこの経験を活かせるようにしたいと思える大会になったと思います」

49erFX 級クルー・永松瀬羅選手

「初日がすごく良かっただけに、日に日に順位を落としてしまってすごく悔しくです。ただレースをしていく中で、自分たちが課題としていたスピードはけっこう克服できたと感じられました。自分たちの中では納得したレースができており、そうした部分で悔いなく終わったのは自分としては良かったと思っています。毎日、岸壁で日の丸を掲げて、名前を呼んでくださる方々がいました。正直、その声を聞く度に嬉しい気持ちと、その気持ちに成績で応えたいのに応えられなくて、やるせなく悔しい気持ちがありました。今後、そういう方々に恩返しができたらなと思います」

iQF0iL 級・富澤慎選手

今日は長い待機の後、スラロームを4レース行いましたが、大会期間中、今日が一番ダメでしたね。トップグループとのスピードの差はちょっと桁違いだと痛感しました。4回のスタートでいろいろ試してながらもがきましたが、スタートの瞬間のスピードが太刀打ちできませんでした。トップ選手とのスピードの違いがずっと課題でしたが、そこはまだ克服できていません。自分的には今日がビッグデイのつもりでしたが、予選最終日の明日、もう一度頑張ってみます」



スラロームレースを戦う富澤選手©JSAF/JUNICHI HIRAI（写真転用禁止）

本件に関するお問い合わせ先

日本セーリング連盟 広報委員会 kohou@jsaf.or.jp

現地（西朝子） sailingnishi@gmail.com

+81-90-1042-9262（なるべく WhatsApp 等のアプリからおかけください）

写真に関するお問い合わせは上記までご連絡ください

JSAF 公式 [ウェブサイト](#) [Facebook](#) [X\(旧 Twitter\)](#) [Instagram](#)

[特設サイト](#) [代表 Instagram](#)